

専門課程シラバス

授業科目	統合実習			担当者	有田真樹子		
開講時期	2年後期、3年後期	授業の方法	実習	単位数	2	時間数	90
授業概要	<p>統合分野では、急激に変化している医療・社会環境の中で、基礎教育と臨地との乖離を緩和することを目的としている。これまでの学習を統合させつつ、チーム医療及び他職種との協働の中で看護師としての役割を理解し、安全な医療や看護が実践できる能力を、より臨地に近い状況で学べるようにしたいと考える。</p> <p>統合実習では、2 単位 90 時間で、「専門分野」での実習をふまえて複数の患者を受け持ち実習することで、実践的な看護 の実際を学ぶことを目標にしている。つまり、複数の患者の看護過程が展開でき、保健・医療・福祉チームの中での役割を 理解し、症状、検査、治療に伴う援助技術に加え、看護管理、医療安全など、臨地での実践的能力を身につけることをねらいとしている。</p>						
授業計画	<p>臨地実習 1 週 目</p> <p>看護管理について看護部長および看護長より講義を受ける。病棟オリエンテーションを受け、看護師シャドーイングにより病棟の概要を知る。2 人の受け持ち患者を受け持ち、情報収集・かご計画立案を行う。</p> <p>臨地実習 2 週 目</p> <p>看護計画に基づき 2 人の患者さんの援助を優先度と時間管理を考慮して行う。シャドーイングで夜間実習を行い、看護師の業務や役割を知るとともに、患者さんの状 況や過ごし方を知る。看護倫理について考える。</p> <p>臨地実習 3 週 目</p> <p>看護長、看護師リーダー、メンバーをシャドーイングし、それぞれの役割について知り、業務の調整や、多職種との連携、チームの一員としての役割を学ぶ。</p>						
テキスト 参考文献	<p>系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践①看護管理 医学書院、第 10 版</p>						
成績評価 の方法	<p>ルーブリック評価を用いた評価規準に基づき、各目標の達成度を評価する。(実践・態度・記録)</p>						